

さいわいニュースレター

さいわいカフェ1周年記念特別号

第8号

樋野興夫先生の言葉の処方箋

がん哲学外来は空っぽの器

がん患者やその家族、あるいはがんが気になる人たちが、いつでも、気軽に集える場所をつくる。そのコンセプトのもと、がん哲学外来を開設してから2018年で10年になります。

がん哲学外来という言葉は初めて耳にした人は、たいてい「いったい何をするとおっしゃるのですか？」と小首を傾げます。説明するとすれば、「何をしてもいいところですよ」ということになるのでしょうか。

患者同士が悩みを語り合うのもいい、家族同士が息抜きのおしゃべりをするのもいい、患者が医療関係者に相談事をもちかけるのもいい、……。もっといえば、何もしないでのんびりとお茶を飲んでいたら、ぜんぜんかまわない。

それががん哲学外来（その後に立ち上がったメディカルカフェも同様）です。わたしも「空っぽの器」と考えています。はじめから何かが入っているわけではありませんから、そこにきた人は何をしてもいいのです。

樋野興夫著
順天堂大学医学部/
国際教養学部 教授
がん哲学外来 理事長



『大切な人が がんになったとき…
生きる力を引き出す寄り添い方』
青春出版社 p. 148より抜粋



樋野興夫先生

がん哲学外来10周年

朝日がん大賞 受賞 日本対がん協会

長與又郎賞 受賞 日本癌学会学術賞

おめでとうございます!



2018年10月
リレー・フォー・ライフ上野にて
ひのチャウチャウ先生とずわにゃん

おかげさまで
さいわいカフェ1周年
ありがとうございます!

ご利用下さる方々、ご協力下さる方々と共に無事に一年間過ごすことができたことを感謝いたします。これからも、継続していけますように★ご指導、ご協力よろしくお願いいたします。

第6回 がん哲学外来さいわいカフェ報告

9月のさいわいカフェは、秋晴れのさわやかな午後、3テーブルに分かれてカフェタイムを共にしました。筑西市にお住いの看護学校関係の方が初めてご参加くださり、日頃から、看取りや寄り添うことに関心があること、自分が病気になるとしたら・・・とお話下さいました。


「お茶のお供」には、筑西市名産の梨『にっこり(梨の名前)』をいただき、新鮮な甘さに、みなさんほっぺが落ちそうになっていました。また、テーブルに飾られた白やピンクのコスモスに、とても心が和みました。

樋野先生の処方箋からは、「あなたはそこにいて価値ある存在」との言葉を受け取り、何かするのではなく何もなくても寄り添っていただけることなどを再確認しました。

最後に、お一人お一人に一言お話しいただき、故人との思い出話にもらい泣きしたり、新しい出会いのひとときを喜んだり、感謝な時間が過ぎていきました。桜川チャウチャウ えびわんこU^e^U



1104 1周年記念特別講演会

- 14:00 開会あいさつ
樋野興夫先生講演会：
生きる力を引き出す寄り添い方
- 15:10 質疑応答
- 15:30 **ゴスペルミニコンサート**
コーナーストーンゴスペルクワイア
 ♪ きみは愛されるため生まれた
 ♪ 糸 (Ks)
 ♪ Go Light Your World
 ♪ 見上げてごらん夜の星を (ご一緒に)
- 15:50 講評 閉会あいさつ
- 16:00 サイン会：ロビーにて 

●さいわいエッセイ●

恩人をがんで亡くし、1年が経ちました。女心と秋の空、なぜか最近思い出せば涙が流れてしまう日が多くなりました。

今も残されたやりとりの一文を、先日のカフェで皆様に聴いていただきました。当時、樋野先生のお言葉に、自分の気持ちを付属して恩人に沢山送っていました。

「まだ一緒にいてください。病気ですけど…病人じゃありません。心配だからアドバイスは沢山しますが、でも、病人扱いは必要時しかしませんから、ちゃんと全部遠慮しないで言ってください。ウネウネと落ち込んだ時は隠さないで気持ちを吐いてください。すぐに行きつけられない距離なので、私に出来ることを考えます。姿は表せなくても寄り添いますから！一緒に考えたり、一緒に笑ったり、一緒に悩んだり…。胸の中に時折浸食する不安とか、孤独とか、怒りとか…病気を強く意識する日は、いっぱい話をしましょう？一緒に時間を歩みましょう？もっと頼ってほしいのです。一緒に何かをする事を、時間を、ただ嬉しいって良かったと思ってくれたらそれでいいんです。まだまだいっぱい色々な事叶えましょう。」

こんな事も話してたな…
 って共有した時間は、
 今も大切な宝物です(*^_^*)

筑西チャウチャウ 竹さえ



◆ ボランティアスタッフ募集中 ◆

さいわいカフェでは、一緒にカフェを作って下さるボランティアスタッフを募集しています。

見学も大歓迎・お気軽にお声をかけて下さいね♪

「わたし、違う病気だけど…？ 若くないけど…？」

もちろん大丈夫！そっとそばにいてだけで、

あなたは必要とされている存在「to be」

なのです。どうぞよろしくお願いいたします。 

ご迷惑をおかけして申し訳ありません

◆ 古河そうわカフェ in 茨城のご案内 ◆

開催日：原則 毎月第3木曜日 午後2時～4時

第9回 11月15日(木) 申込不要参加無料

第10回 12月20日(木)

会場：〒306-0205

古河市関戸1759-16 

主催：がん哲学外来古河そうわカフェin茨城

電話&FAX 0280-98-1948

メール：gtkgsowak@gmail.com(前山)

● 茨城よろこびの会 市民セミナー ●

『がん検診でいきいきライフ』

～早くみつけて しっかり治療～

日時：H30年12月2日(日) 午後1時～3時

会場：筑西市しもだて地域交流センター

アルテリオ1階 〒308-0031 筑西市丙372

参加入場無料：定員150名(どなたでも参加できます)

内容：がん体験談・シルバーリハビリ体操

講話「がん検診の現状と最新のがん治療」

～ロボットからオペジーボまで～

講師 茨城県立中央病院

名誉院長 永井 秀雄氏

お問い合わせ：(公財)茨城県総合健診協会内

茨城よろこびの会事務局

029-241-0011(代)

主催：茨城よろこびの会(がん患者と家族の会)

後援：(公財)茨城県総合健診協会・筑西市

レディスピア県央・レディスピア県西 

● 編集後記 ●

●おかげさまで1周年！あつという間に1周年！パチパチ「がん哲学外来」との出会いによって、「人生は思い出づくり」の充実した1年間を過ごすことができたと感じています。スタッフの皆様、ご利用下さった皆様に心から感謝いたします。

●さいわいニュースレターも第8号を迎え、再びaonowaさんに、四つ葉&てんとう虫バージョンとチャウチャウ犬のイラストを描いていただきました。天道虫→転倒無死(転ばない・死なない)、点灯虫(あかりとなる・灯火)…と、無理やりこじつけですが、太陽に向かって飛んでいくてんとう虫パワーをいただいています。また、今回は、スタッフのさえさんがエッセイをお寄せくださいました。こころにじーんときますね。ありがとうございました。

●筑西市に2度目の登場となった樋野興夫先生の「言葉の処方箋」は、いかがだったでしょうか？「2人に1人ががん…」の時代ですが、「えー；；」と思ったそんな時、どうぞお気軽に「さいわいカフェ」をご利用ください。一緒に「解決はできなくても解消はできる」ひとときを過ごしませんか？

●次回のさいわいカフェは、今月24日(土)2時からです。どうぞお気軽にいらしてください。申し込みは、お電話またはメールでお願いいたします。あなたの参加をスタッフ一同お待ちしております。



Facebook：がん哲学外来さいわいカフェin茨城・筑西

Twitter：GTさいわいカフェ♪ 最近始めました。

のんびりよちよち更新中、応援下さいU^ェ^U



がん哲学外来さいわいカフェ 海老澤規子